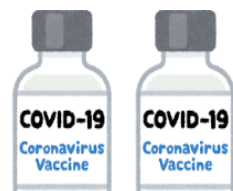


コロナ禍克服に挑む!

～公明党の取組について～

ワクチン確保に道開き、接種スタート

感染収束への”切り札”となるコロナワクチン。医療従事者を皮切りに2月より各地で接種が進められ、収束に向け希望の輪が広がっています。刈谷市でも5月以降いよいよ高齢者にも対象が拡大されます。



米ファイザー製など国民全員分の供給へ

公明党は早い段階から、世界各国の”ワクチン争奪戦”も想定し、先行する海外開発ワクチンの調達を急ぐよう政府を促してきました。しかし、政府は当初、調達に必要な財源のメドを立てておらず、厚生労働省と海外製薬メーカーの交渉が大きく遅れていました。

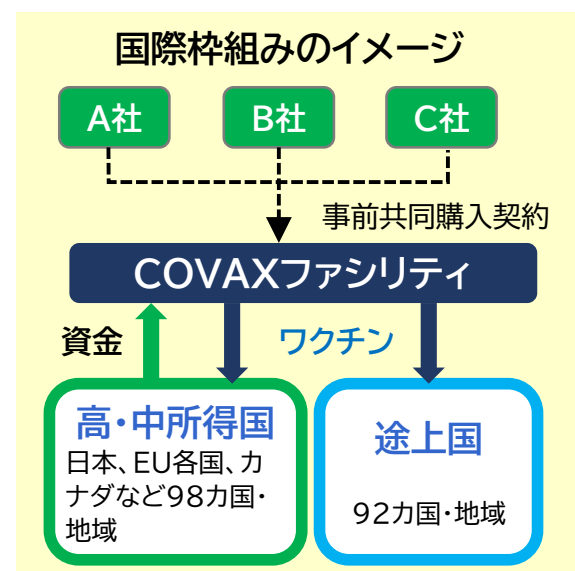
転機となったのは昨年7月16日の参院予算委員会。医師でもある公明党の秋野公造氏が海外開発ワクチンの確保に必要な予算措置を強く訴え、政府も「予備費の活用」を初めて明言。これを機に政府と海外製薬メーカーの交渉が一気に加速。米ファイザー、英アストラゼネカ、米モデルナの3社と契約に至り、国民全員分をカバーする合計3億1400万回(1億5700万人)分の供給を受ける予定です。

安定供給へ国内生産も

今後、ワクチンの輸入が停滞する事態も見据え、安定的に供給するためには、確保するルートを多様化することが重要です。英アストラゼネカが日本に供給するワクチン1億2000万回(6000万人)分のうち9000万回(4500万人)分が国内で生産されることになりました。また、公明党が訴えてきたワクチンの国内開発については、2020年度補正予算に関連費用が計上され、現在、政府の補助を受け国内メーカーと大学などが取り組んでいます。

途上国に届ける国際協力

世界保健機構(WHO)などが主導し、途上国が取り残されることなく、全世界へワクチンを公平に届けることをめざす国際的な枠組みが「COVAXファシリティー」です。公明党は日本がCOVAXに参加するよう主張。これを受け政府は昨年9月、先進国でいち早く参加を表明。これが呼び水となり、多くの国が後に続き、国際協力の輪は190の国・地域に広がっています。



新型コロナワクチン接種について

※ 5月7日現在の情報です。最新情報は市のホームページ等にてご確認ください。

- 対象者** 16歳以上の刈谷市民(原則、住民票のある市町村で接種)
- 接種順位** ①医療従事者 ②65歳以上の高齢者(昭和32年4月1日以前に生まれた方)
③基礎疾患を有する人や高齢者施設などの従事者 ④それ以外の人

4月28日に65歳以上の方へ接種券(クーポン券)を発送しました。

65歳以上の高齢者 接種が受けられる場所と予約方法

	個別接種	集団接種
場所	市内実施医療機関	刈谷市保健センター
予約方法	5月17日より予約開始 ※ 市内実施医療機関に直接電話でお問い合わせ願います。	6月5日より予約開始 ① WEB予約「刈谷市接種予約サイト」 ② 電話予約 刈谷市新型コロナワクチンコールセンター TEL: 0570-047-055
接種時期	5月24日より接種開始 ※ 各医療機関により、予約や接種の日程が変更になる可能性があります。詳しくは医療機関にお尋ねください。	6月19日より接種開始 土曜・月曜の午後および、日曜の午前・午後 午前: 9時30分～11時30分 午後: 13時30分～15時30分 ※ 詳細は、市ホームページをご参照願います。

※ 予約開始当初は電話が混み合うことが予想されます。ワクチンは順次供給されますので、安心して予約をして頂きますようお願いいたします。

※ 市内実施医療機関は、市のホームページ等でご確認願います。

※ 65歳未満の方の接種券の発送およびワクチン接種時期については未定です。

- 接種時に必要な持ち物** ① 接種券(クーポン券) ② 予診票
③ 本人確認ができるもの(運転免許証、健康保険証等)

電話相談窓口

刈谷市のワクチン接種について、接種会場、接種券、集団接種の予約などについて	刈谷市新型コロナワクチンコールセンター TEL: 0570-047-055	9時～18時 月～土曜日
ワクチン接種の効果や副反応について	愛知県新型コロナウイルス感染症健康相談窓口 TEL: 052-954-6272	9時～17時30分 毎日